

## 8 月期相場概況

8 月期の日経平均株価は約 136 円上昇。期中の高値は期末 8/31 の日中高値 10,767 円、安値は期中の日中安値 10,140 円。

8 月期の日経平均は、前期 7 月後半からの押し目のない上昇の流れを引き継ぎ、強い展開が続いた。前月後半からの流れは 8 月に入ってから上昇のペースは鈍ったがそれでもほとんど押し目を作らず上昇を続け、期中 8/14 には 10,600 円を突破し、年初来高値を更新した。しかし数日前から、米国、中国などの海外市場が軟調な動きになっていたことや、SQ を迎えたことで SQ がらみの特殊な需給が消えたことで翌 8/17 には売りに押される展開となり、300 円近い急落、安値引けとなった。17 日の夕場には一時 10,110 円を付け、1 日下落幅としては久しぶりの暴落に近い様相となった。翌日以降もこの流れだと暴落となるような落ち方ではあったが、下値では強い買いが入り日経平均はしばらく 10,250 円付近でもみ合い、その後再び上昇。10,600 円以上は頭の重さを見せていたが、民主党が圧勝した衆院選後の期末 8/31 の午前の早い段階で強い買いが入り、売り方の買い戻しを誘う形で日経平均は年初来高値を更新、その後は急速に売られ 10,492 円で今期を終えた。